

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成30年10月11日 (2018.10.11)

【公開番号】特開2017-101177(P2017-101177A)

【公開日】平成29年6月8日 (2017.6.8)

【年通号数】公開・登録公報2017-021

【出願番号】特願2015-236767(P2015-236767)

【国際特許分類】

C 0 9 D 105/00 (2006.01)

B 0 5 D 7/24 (2006.01)

C 0 9 D 7/40 (2018.01)

C 0 8 G 65/332 (2006.01)

C 2 3 C 26/00 (2006.01)

【 F I 】

C 0 9 D 105/00

B 0 5 D 7/24 3 0 2 C

C 0 9 D 7/12

C 0 8 G 65/332

C 2 3 C 26/00 A

【手続補正書】

【提出日】平成30年8月29日 (2018.8.29)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 4 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 4 3 】

試料 A、試料 B、および試料 C の D S C および T G の測定結果を図 7 と図 8 に示す。これらのサーモグラムより決定された T g と T d 5 の値を表 1 に示す。試料 B の T g 値は、試料 A の T g 値より高いが、これは試料 B の高い分子配列オーダーによるものと考えられる。また、試料 B の T g 値は、試料 C の T g 値よりも 8 . 1 低かった。これに対して、試料 B の T d 5 は、試料 C の T d 5 よりも 6 . 1 高かった。この結果は、アセチルパラミロンがアセチルセルロースよりも高い熱的安定性を有していることを示している。